

一般社団法人 日本放射暖冷房協会 会長退任のご挨拶

2019年7月に一般社団法人日本放射暖冷房協会の会長をお引き受けしてから任期である2期を務めさせていただき、放射暖冷房の普及に向けた仕組みづくりや業界規格の策定に、私なりに尽力してまいりました。

思えば協会の前身となったヒートポンプ床暖房協議会から8年、現在のメンバーで放射冷房に取り組むようになってから約4年間、放射暖房、放射冷房の将来について語りあい、次世代の快適な住環境を実現するにはどうすればよいか、模索しておりました。

協会の活動としては前期までに放射冷房の試験方法について業界規格を確立しましたので、今期はさらに1つステージを上げ、IBEC 建築省エネ機構内にタスクグループを立ち上げ、自立循環プログラムに放射暖冷房を組み込んでいくための準備を進めることになりました。

そしてこの度、東京都市大学名誉教授でいらっしゃる宿谷昌則先生に会長をお引き受けいただくことができました。室内環境を放射によって調整することの素晴らしさや快適性について、長きにわたり研究されておられる宿谷先生にお引き受けいただけたことは、当協会の発展のみならず、我が国の暖冷房環境全体に素晴らしい好影響を与えてくださると確信しております。

私自身も協会に残り、事務局的な役割を担いながら、会長を全力でサポートしてまいり所存です。今後の当協会の発展にご期待いただくとともに、様々な形でご支援くださいますよう、関係者のみなさまには衷心よりお願い申し上げます。

2021年6月23日

一般社団法人 日本放射暖冷房協会

前会長 佐藤 央